



## 教育長就任あいさつ

教育長 滝澤 正



昨年10月1日に教育長を仰せつかりました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、大和市教育委員会では、「自ら成長する力を育む学校教育」を基本理念として、平成18年3月に大和市学校教育基本計画を策定し、学校・家庭・行政・地域が一体となって、みずみずしい感性と豊かな心を基盤に、自ら成長する力をもった児童生徒の育成に取り組んでいます。

そのためには、まず、学校・家庭・地域がそれぞれ、本来もっている教育機能を十分発揮することが大切です。さらには、学校・家庭・地域の三者が緊密な連携を図り、豊かな心と自ら成長する力の育成を図ることが重要です。

学校にあっては、子ども

が学ぶ楽しさ・できる喜びを得られる授業づくり。特別活動や道徳教育をとおして、豊かな心を育み、子どもと教師、子ども同士の間で、新しい人間関係づくりへ向けての教育活動を展開すること。

また、家庭にあっては、基本的な生活習慣の形成や善悪の判断といった規範意識の高揚を図ること。

さらに、地域にあっては、「地域で子どもを育む」という考えのもと、子どもの見守り活動や自然体験、勤労体験の場づくりなど、子どもたちの健全育成へ向けての環境づくりにご尽力いただくこと。

学校・家庭・地域がもつ教育機能と現状を改めて見つめ直し、子どもの成長にとってよりよい教育環境とは何かを問い直すなかで、「自助・共助・公助」の理念をいかした具体的行動が求められています。

次代を担う子どもたちの健やかな成長を図るために、大和の教育の充実・発展に努めてまいります。

## トライワークに奨励賞

### 渋谷中学校

11月15日、パシフィコ横浜で、第19回全国産業教育フェア神奈川大会が開かれました。

この中で、中学生職場体験、高校生・専門学校生インターンシップ体験発表会が開かれ、渋谷中学校は、「地域に根ざすトライワーク」を渋谷中学校「職場体験」と題して学校の取り組みを発表し、奨励賞をいただきました。

広い会場の中、スポーツライントを浴びた三年生二人の発表者の緊張はいかばかりのものでしょう。しかし、パワーポイントを操作しながら、一生懸命に、堂々と、渋谷中学校がどのようにして地域の方々を支えられて職場体験学習を11年間積み重ねてきたか、また、その実習体験で自分が何を学んだかを、しっかりと発表していました。

県内の4中学校、3高校、1専門学校校の受賞校の代表による発表後、文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官の藤田

調査官の藤田



晃之先生より講評がありました。渋谷中学校の取り組みについて、「和菓子作りの体験を通して、簡単そうなことでも実は大変であるということ、自分が作った和菓子を客が手にとってくれることの喜び、大変なことを乗り越えた先にやりがいがあること等、とても素晴らしいことを学んでいます。そのようなことを学べる場として、地域の中で受け入れていただいていることに、この中学生の職場体験の価値があるので」と話してくださいました。

市内では多くの中学校で職場体験学習がすすめられています。また、このようなキャリア教育は小学校でも進められています。解決すべき課題もありますが、この学習の継続・発展に期待がよせられます。



# 緑の芝生に光る汗

## 上和田小学校六年生

10月19日、上和田小学校で六年生を対象にサッカー教室が開かれました。スポーツの楽しさ・サッカーの面白さを味わうことを目的に、横浜F・マリノス株式会社ホームタウン・普及本部の事業「サッカーキャラバン巡回指導」として実施されたものです。

あいさつ後、児童は、緑鮮やかな芝生の上で、簡単にチームワークが必要なゲームやドリブル練習をしました。

休憩後、男女別に試合を行いました。コーチのアドバイスとあたたかな励ましに、児童の動きも生き生きとし、どの試合も熱が入るものでした。



「初めてのことがたくさんあった。」「いっぱい走ったから熱い。」「と汗が光る真っ赤な顔で芝生に座りながら話してくれました。」

担任の先生は「芝生がある

のだから、児童にはその良さを満喫させてあげたい。」と話してくれました。

「コーチは、「上手でした。今疲れていると思うけど、大事なのはこのやり終わった時に話がしっかり聞けること。話を聞く時にしっかり目を見れば、

頭にも入りま



強の時

今年も、五年生が、外部講師による講演、学区内にある「三機自然環境園（ビオトープ）」の見学や「環境エネルギー館」への社会見学会等、体験を重ねていきます。



後、市が10月に購入した電気自動車に体験乗車した児童は、「静かでゆれない車だと思った。酔いやすい私もこれなら酔わない。」「CO2を出さないこういう車が増えていくと地球にやさしいと思った。」と話してくれました。

また、回収した廃食用油をバイオ・ディーゼル燃料（BDF）に精製している社会福祉法人「ふきのとう舎」の職員よりBDFができるまでの廃油の旅を学んだ児童は、「役に立っている気がした。これからも使った油を集めたい。」と話してくれました。



# 環境学習

## 北大和小学校五年生

学校に電気自動車（EV）がやってきました。市の職員からCO2削減の重要性を学んだ

「エコ・クッキング出張授業」で学んだ後、この一年で自分たちが学んだことをまとめ、校内に向けて発信し、自分たちができることを実践するそうです。

担任の先生は、「地球環境について、日本や大和の現状を知り、保護者や教師、地域の方々の環境への思いや子どもの成長への願いを知り、理想の未来の大和に向かって、今できることを考え、行動できる子

になる

て欲しい。」と話してくれました。

# 食器リニューアル

## 西鶴間小学校



給食時間は、子どもたちにとって楽しい時間です。西鶴間小学校では、9月から、給食の食器がアルマイト製からPEN樹脂（ポリエチレンナフタレート）製にリニューアルされました。PEN樹脂は質感もよく、安全性にすぐれ、環境に配慮したリサイクル可能な素材です。アイボリー系の、淡いオレンジのブロッ

クラインがついた食器に、児童は「明るい雰囲気になったので同じものでもおもしろく感じる。」「持つ時に熱くない。」「嫌な音がしない。」「小さい時に使っていた食器みたい。」と話していました。

児童の使いやすさも考慮され、うどんの麺類用食器やお盆は、今までより一回り大きなサイズになっています。

来年度4月からは、残り全ての小中学校の食器もPEN樹脂製にかわり、お箸を使う給食が実施される予定です。

# 小学校外国語活動始まる

渋谷小学校・柳橋小学校

小学校では、平成23年度より新学習指導要領が全面実施され、外国語活動を、五・六年生で年間35時間学習します。本市では、今年度より各学年17〜35時間実施しています。市内の小学校では、校内外で、小学校外国語活動の在り方や指導法等の研修が重ねられています。

## 公開授業参観・講演

140人超の

先生が参加

渋谷小学校

11月30日、渋谷小学校で外国語活動の六年生の授業「レストランへ行こう」が市内の先生方に公開されました。

＜レストランの会話例＞  
 店員：“What would you like?”  
 客：“I'd like ~and~, please.”  
 店員：“Here you are.”  
 客：“Thank you.”

好きな料理を尋ねて答えるゲームの後、店員役と客役に分かれてレストランでのコミュニケーション体験をしました。はじめは多くの参観者に緊張し、とま

どいが見られた児童でしたが、担任やALT

(外国

語活動

指導助

手)の

先生の

笑顔に

助けら

れ、や

や照れ

ながら

も、クロス

の敷かれた

テーブル

とトレイや



自分の役をつとめていました。授業参観後、「コミュニケーションを楽しむ」というねらいが達成できていたかについて、本市の外国語活動に指導している京学院

大学教授の渡邊寛治先生からお話しをいただきました。先生方はALTと行う外国語活動の授業と評価について、理解を深めることができました。

## 外国語活動の

校内研究会

柳橋小学校

12月1日、柳橋小学校では、校内の先生全員が参加して授業公開とその授業についての研究会が行われました。六年生「世界の国々について知ろう」の授業では、アッ



プテンポの国の名々のチャンツ(英語のセンテンスをリズムに乗せて繰り返すこと)とカードゲームの後、自分たちが調べた国のことについて3ヒントであててもらうゲームを行いました。児童

あたたかな日差しが降り注ぐ、パステルカラーに包まれた図書室。紙芝居や大型絵本をはじめ、たくさんの読み物が本が並んでいます。真新しい書架や椅子とともに、手作りの椅子がありました。幼稚園からいただいた椅子に、夏休みに先生方がピンクやライトグリーンにペンキ塗りをしたそうです。廊下の下駄箱からも心温まる手作り感が漂います。



## 新図書室誕生

林間小学校



休みの時間のチャイルドと同時に入ってきた子どもたちは、お気に入りの場所に向かいます。窓際のベンチに、お友達と丸テーブルに、ふわふわ椅子に、カーベツトに。思い思いの姿勢でお気に入りの本に夢中です。始業チャイムに去りがたい様子で教室に戻っていきました。

この図書室改修は市のウエルカムプランとして実施されています。これまでに整備された林間小学校と大和小学校に続き、今年度中に8校、来年度は6校が学校オリジナルのプランにより整備されます。

は楽しみながら、世界の国々への理解を深めていました。五年生「好きなもの」の授業では、チャンツやビンゴゲームで「A: Do you like ~?」「B: Yes, I do. の言い返し」

慣れたのち、友達に好きなものを尋ね合いました。児童はたくさん友達やALTとコミュニケーションをはかっていました。

